

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への留学支援や、参加型イベント、フィールドワーク等、校外での活動に制約が出たが、R5年度は少しずつ回復傾向がみられた。

### 2 事業目的

高校での学びを、従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した主体的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする。生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①学びの改革や先進的な取組を展開**
- ・先進的、先端的な研究開発に取り組む実践校を「未来の学校」として指定し、支援
  - ・世界で活躍できる資質・能力を育成するため、WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムにおいて、オンラインを活用した文理横断的な学習プログラムを開発し、ALネットワーク（高校と外部機関の連携によるアドバンスド・ラーニング・ネットワーク）を拡大
  - ・将来、国際的に活躍するための科学技術関係の探究力を培うため、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校を支援
- ②参加型、探究型のイベントを開催**
- ・優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供
  - ・将来地元産業を支える科学技術の資質・能力を培うため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催
  - ・子どもたちの多様な進路選択や興味関心に対応するため、民間団体等と連携し、学校外の多様な学びの機会を創出
- ③海外留学への機運を醸成**
- ・信州に根差したアイデンティティと将来世界で活躍できる高校生を育成するため、「信州つばさプロジェクト」として県企画のプログラムや個人留学補助により海外留学を支援。また、海外留学を促進し、グローバル探究リーダーを育成するための産学官連携コンソーシアムを設立・運営。
  - ・海外大学進学者による講演会や座談会及び海外大学進学者と直接語り合う講座等を実施。
- ④高校生の進学や就職を支援**
- ・高校生の進学を支援するため、高大接続改革に係る最新の情報や効果的な実践事例を各校が共有する機会を提供
  - ・キャリア教育を推進し、高校生の多様な進路選択を支援するため、就業体験活動の経費負担等を実施

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	ALネットワーク参加校数	校	17	17	→	18	↗	18	達成	国内外、県内外と連携してカリキュラム開発を実施するWWLコンソーシアムの展開を進め、ALネットワークに参画する県内高校を増やしていくため、令和5年度は18校を目標として設定	
②	探究的な学びの質を高める大会・コンクール・発表会への参加生徒数	人	347	384	↗	458	↗	400	達成	探究的な学びの質を高める大会等への参加者を高めていくため、令和5年度は400人を目標として設定	
③	海外留学に向けた啓発イベント参加者数	人	108	114	↗	205	↗	200	達成	海外留学を促進するための説明会等を実施し、総合5か年計画に掲げる海外への留学率を高めていくため、令和5年度は200人を目標として設定	
④	インターンシップ実施校率	%	73	91	↗	100	↗	80	達成	インターンシップ実施校率を高めることで、高校生の多様な進路選択を支援するため、令和5年度は80%を目標として設定	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2021 (R3)	84.3	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2027 (R9)	84.3
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	★高校生の海外への留学者率	%	2021 (R3)	0.03	2022 (R4)	0.67	2023 (R5)	1.2	2027 (R9)	2
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校現役生で進学希望者のうち進学した者の割合	%	2021 (R3)	92.4	2022 (R4)	92.6	2023 (R5)	92.6	2027 (R9)	94.9
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校卒業後就職希望者の就職内定率	%	2021 (R3)	98.5	2022 (R4)	98.1	2023 (R5)	98.6	2027 (R9)	99.5

## 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
				うち一般財源			
R5年度	0	412,687	6,949	419,636	333,671	350,575	13.0
R4年度	0	417,832	△ 23,172	394,660	329,640	360,827	13.0
R3年度	0	444,047	14,109	458,156	334,444	397,065	13.0

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

## 7 主な取組実績と成果

### ① 学びの改革や先進的な取組を展開

・希望する高校生が学校の枠を越えて参加できる「探究的な学び」に資する学びのプラットフォームの更なる充実を図るとともに、A Lネットワーク校の連携を図り、各校で実践されている文理横断的かつ多様な科目の融合による学習プログラムをオンラインを活用して他校の生徒にも提供できる環境整備を進めた。



・SSH事業では、指定校の研究開発と域内外への普及に努めた。その取組が評価され、次年度は屋代高等学校・附属中学校が先導的改革型Ⅱ期、諏訪清陵高等学校・附属中学校が認定校、また県がSSHコーディネーター配置機関に指定された。

### ② 参加型、探究型のイベントを開催

・各校の探究的な学びの質を高めるため、「高校生学びのフォーラム」推進事業において、「マイプロ長野県Summit」として生徒が学校の枠を越えて一同に会して学びの成果を発表し合う場を提供、40校、163人が参加した。



・信州サイエンスキャンプ事業では「信州サイエンステクノロジーコンテスト（科学の甲子園）」に10校21チーム144名、「課題研究合同研修会」では研修会10校130名・発表会15校35件151名、「信州サイエンスミーティング」に17校197名が参加した。また「科学エキスパート講座」には20校80人が参加し、信州大学教員による特別講座を受講した。

### ③ 海外留学への機運を醸成

・県内高校生の海外留学への機運醸成を図るため、県が企画する留学支援事業「信州つばさプロジェクト」参加者による留学体験報告会（ウィングシェア）や講師を招いた「グローバル講演会」、海外の大学生との対話及び海外進学留学講座や教員保護者も対象とした留学フェアを開催した。

・「信州つばさプロジェクト」県企画コース80名（アメリカ、マレーシア、カンボジア、台湾の各コース20名）個人留学10名の海外留学を支援した。

### ④ 高校生の進学や就職を支援

・キャリア・チャレンジ・プログラムによるインターンシップ（就業体験活動）の保険料の補助（5,619人が利用）

・定時制・通信制生徒のためのキャリアチャレンジバスツアーを4地区で実施（13校62名の生徒が参加）



## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ALネットワーク参加校数	R4年度推移	→	R5年度推移	↗	達成状況	達成
国内外の高校や大学、企業等と連携し、これまで各校で開発してきたイノベティブなグローバル人材育成に資するカリキュラムを本校以外の高校生に対しても提供する取組により、高校生に高度な学びを提供するネットワーク（ALネットワーク）の拡充が図られ、連携校の増加につながった。							
指標②	探究的な学びの質を高める大会・コンクール・発表会への参加生徒数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
発表会やコンクールへの参加は、学校の枠を越えて探究の成果を共有し、互いに学び合うことができるとともに、生徒にとって自身の探究活動がブラッシュアップされ、深化を実感することにつながっていると思われる。また、探究活動が全県に浸透していくこともない、大人やその道の専門家等、他者に評価されたり、認知されたりすることが、生徒の自己肯定感を高め、参加者の増加にもつながった。							

指標③	海外留学に向けた啓発イベント参加者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>前年度の信州つばさプロジェクトの参加者による県内各校や留学フェアでの体験報告等のウイングシェア活動や、グローバルな学びに関する講師を招いた講演会の実施を通して、県内高校生の海外での学びに対する興味関心が向上するとともに、海外留学に関する機運が芽生えたことにより、参加者数の増加につながった。</p>							
指標④	インターンシップ実施校率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、企業側が受け入れに積極的になってきたこと。探究的な学びが浸透するにつれ、地域連携等が活発化していること。各校でのキャリア教育の充実があることから、実施校率の増加につながり全校でインターンシップが実施できている。</p>							

## 9 今後の事業の方向性

<b>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</b>							
<p>指標① ALネットワーク参加校が都市部の学校に多いため、中山間地や小規模校へも成果を普及することが課題。</p> <p>指標② 学びのフォーラム長野等で、地域の方（企業、大学生、一般）にファシリテータ等を担当していただく等、地域と協働することにより、高校生が地域と連携する機会が増えており、生徒の学びの充実につながっている一方で、連携のための準備等、教員にかかる負担が増している。改善のために、学校と地域人材を繋ぐ地域連携コーディネーターを入れる学校も増えてきているが、全校に配置するには程遠い状況。</p> <p>指標③ 海外留学や進学機運が高まる一方、物価高騰による海外渡航に係る費用負担が課題となっている。</p> <p>指標④ 今後も全高校でインターンシップを実施していくため、引き続きインターンシップ受入れ企業を拡大していくことが重要。</p>							
<b>(2) 事業改善の方策</b>							
<p>指標① 中山間地や小希望校への生徒へ成果を普及するために、生徒の探究的な学びを支援する学習ポータルサイトやオンライン合同授業等の取組を進めるとともに、教員同士のヨコの連携や外部機関等の更なる連携強化に努める。</p> <p>指標② 生徒や先生方の探究的な学びの支援に資するため、多くの地域人材等をファシリテータとして招へいするほか、オンラインを活用し、部活等忙しい生徒が相談しやすい場を創出していきたい。</p> <p>指標③ 引続き県内高校生の海外留学費用を支援する信州つばさプロジェクトを実施していく。特に県企画は募集人数を拡大する。海外留学進学に関する情報提供を行うとともに、生徒の主体的かつ幅広い進路選択の実現に向け、現役海外大生との対話や教員・保護者向け相談会等を企画する予定。</p> <p>指標④ インターンシップの受入れ企業の拡大のため、経済4団体への要請を実施。また、インターンシップの支援としてこれからもインターンシップ参加に伴う保険料の補助を実施したい。</p>							

事業番号	15 06 01	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>「探究的な学び」推進事業費</b>		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>特色ある学校設置事業</b>	2,822 千円	2,581 千円	4,936 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県立高校「未来の学校」構築事業	直接 負担金	<p>「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、先進的・先端的な研究開発を行うため、異なるテーマの実践校6校を指定し、概ね5年間研究開発に取組み、評価・検証を行いながら成果の普及を図る（R5年度は5年計画の4年目）。卓越した探究的な学びを推進するために、地域連携コーディネーターの発掘や、「高校コーディネーター全国プラットフォーム構築事業」高校コーディネーター研修に参加することにより、地域の特色を活かした教育課程の充実を図る。</p> <p>「未来の学校」実践校6校（野沢北、須坂、飯田風越、木曾青峰、坂城、松本深志）の実践研究推進の支援、成果の普及に向けた報告会等の支援を実施</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>グローバル人材育成事業</b>	187,147 千円	204,726 千円	214,112 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業	直接	<p>WWL事業のカリキュラム開発拠点校、共同実施校を中心に研究開発した、インベティブなグローバル人材育成に資する文理横断的な学習プログラムをデジタルコンテンツ化し、県内の高校生が自宅等学校以外でも受講できる仕組みを整備するとともに、受講した高度な学びについて、単位認定の在り方を調査研究する。</p> <p>拠点校（上田）、共同実施校（松本県ケ丘）、連携校16校で研究</p>	
2	「海外での学び」推進事業 信州つばさプロジェクト	直接 負担金 補助金	<p>高校生の留学気運の向上を図るため、留学フェアの開催等により事業の広報活動等を行う。高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、米国、カンボジア、マレーシア等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。行先と期間に応じて個人留学の経費の一部を補助する。補助金交付先：県内の高校生</p> <p>県企画4コース（80名）、個人企画（短期・長期10名）を実施</p>	
3	信州英語教育リネサンス事業	直接	<p>英語4技能をバランスよく育成するため、小・中・高校の英語教員を対象にした研修やパフォーマンステストの実践を研究する協力校を募集し、モデル授業を普及する。</p> <p>小中高の英語教員を対象とする長野県英語教育フォーラム1回、研究協力校、教員研修を実施</p>	
4	外国語指導助手（ALT）配置事業	直接 委託	<p>高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。</p> <p>高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を派遣業務委託する。派遣委託先：民間事業者 ALT43名を配置</p>	
5	サマースクール等を活用した多様な学びの機会創出事業	直接 負担金	<p>子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、高校生が国際的に活躍する社会人や大学生等と交流する機会を提供する。また、関係機関等とサマースクール等の普及促進について検討する。</p> <p>参加者数50名（うち県内生25名）</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	科学教育推進事業	7,062 千円	6,328 千円	7,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	科学オリンピック養成講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝える。また、各種科学コンテスト参加者を増やし、勝ち抜いていくための実力を養成する。 実力養成講座8講座（物理、化学、生物、地学、情報）に各10名程度参加	
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやそれにつながる基礎研究に対する生徒の興味喚起や視野拡大、また、国際性の涵養や卓越性の伸長を図り、世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、県立高校が企画して実施する、大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する国内研修を募集し経費を助成する。 上限300千円/校、15件に助成	
3	信州サイエンスキャンプ	直接	理数系科目への興味・関心を高め、将来地元産業を支える科学技術系人材を育成するため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催する。 信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会、信州サイエンスミーティングを各1回開催	
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。 指定校：飯山高校、屋代高校・附属中、諏訪清陵高校・附属中で実施	
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	直接 委託	プログラミング教育を含む他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成するための、リーダー（フェロー）養成研修を実施する。 信州のものづくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州Makers教室」「信州Makersキャンプ」の開催を民間事業者に委託する。 信州Makers教室2地区開催、信州Makersキャンプ1回、Makersフェロープログラム16回実施	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	「高校生学びのフォーラム長野」&「信州学」推進事業	6,635 千円	7,929 千円	8,615 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。 全県立高校（101校）で信州学を実施	
2	「高校生学びのフォーラム長野」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。 スタートアッププログラム、中間相談報告会、伴奏者フォーラム、マイプロ長野県サミット各1回開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	学校芸術文化振興事業費	20,960 千円	16,208 千円	19,435 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	<p>高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。</p> <p>交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>支援実績：県大会 延べ477校、493団体、4049人、支部大会 延べ304校、344団体、4056人</p>	
2	高等学校文化振興事業（大会生徒派遣事業）	交付金	<p>高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。</p> <p>交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>支援実績：全国総文祭参加部門数18、参加全国大会数7、ブロック大会数5</p>	
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	<p>定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。</p> <p>支援実績：26校、3,561人</p>	
4	2018信州総文祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	<p>2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。</p> <p>負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部</p> <p>支援実績：4件、講習会：延べ65回、フェス実行委員会5回</p>	
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	<p>小諸高校音楽科生徒の中から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を生かし、一流の音楽家による実技指導等の機会を提供する。</p> <p>生徒12人、引率職員2人のウィーン派遣を支援</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	学力向上推進事業	10,630 千円	8,989 千円	8,487 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育課程改善推進事業	直接	<p>文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を行う。</p> <p>各教科担当指導主事連絡協議会4回、教育課程研究協議会4地区各1回実施</p>	
2	高大接続改革対策支援事業	直接	<p>高大接続改革や探究的な学びに向けた各校の取組・実践を推進するために、研究協議会、研修会等の実施と各校の取組に対する支援を行う。</p> <p>進路指導研究協議会2回、入試情報システム30校導入</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	カリキュラム編成支援事業	90,724 千円	89,080 千円	84,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	カリキュラム編成支援事業	直接	<p>県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置する。</p> <p>非常勤講師74校、学習支援員42校に配置</p>	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	キャリア教育推進事業		1,939 千円	2,023 千円	2,975 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を負担する。 キャリア・チャレンジ・プログラム：損害賠償保険補助生徒数：5619人		
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助する。 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体 補助対象校：延べ56校、補助対象生徒数：延べ139人		